



有限会社ベイリーフ

2025年9月26日

お取引先様 及び 関係者各位

YOROIジュニアプロテクター売上のお一部をスポーツ医療支援プロジェクトへ寄付

「どこにいても、スポーツを諦めない未来へ」を応援します

有限会社ベイリーフ（本社：大阪府吹田市）は、札幌医科大学医学部スポーツ医学講座 渡邊耕太教授が推進する「どこにいても、スポーツを諦めない未来へ」プロジェクトを支援するため、YOROIブランドの「ジュニアプロテクター」売上のお一部を寄付する取り組みを開始いたします。

【寄付の概要】

対象商品	YOROIジュニアプロテクター各種
対象期間	2026年3月31日まで
寄付先	札幌医科大学医学部スポーツ医学講座 渡邊耕太教授のプロジェクト
寄付内容	対象商品売上のお一部

本取り組みの背景

YOROIは、人々がスポーツを楽しむ中でのケガのリスクを低減することを理念として活動を続けてきました。この理念と、渡邊教授が推進する「子どもたちが安全にスポーツを続けられる未来づくり」というプロジェクトの目的は強く重なっております。そのため今回の取り組みを、ベイリーフおよびYOROIのCSR活動の一環として位置づけ、『YOROIジュニアプロテクター』の売上のお一部を寄付することいたしました。

渡邊耕太教授のプロジェクトについて

本プロジェクトは、クラウドファンディングにて早期に目標を達成し、社会的な関心の高さを示しました。以下の取り組みを通じて、スポーツ現場における医療体制の強化を目指しています。

【プロジェクトの主な取り組み】
・ポータブルエコーの導入：スポーツ現場での外傷・障害を即座に評価できる体制を整備。骨折や靭帯損傷等をその場で見極め、早期の対応や重症化防止につなげる。
・遠隔医療相談システムの構築：大会や練習現場から専門医とオンラインでつながり、迅速にセカンドオピニオンを得られる仕組みを導入。地域差や専門医不足による不安を解消します。
・スポーツ現場での安全性向上：医療スタッフが活動しやすい体制をつくり、選手がケガを理由にスポーツを諦めない社会を目指します。子どもからトップアスリートまで幅広い層が安全に競技に取り組むことが可能に。
・最先端「3次元動作解析システム」の導入：

ケガリスクを可視化し選手一人ひとりに合った予防策を現場で提案が可能になります。 詳細は
以下プロジェクトページをご覧ください：  READYFOR 「どこにいても、スポーツを諦めない未来へ」 <https://readyfor.jp/projects/sapmed-sports2025>

これらの整備により、スポーツに取り組む子どもたちがより安全な環境でプレーできる未来の実現
を支援します。

ご購入を通じた応援のお願い

本取り組みは、YOROIジュニアプロテクターをお買い上げいただくことで、どなたでもご参加いただけます。ご購入がそのまま支援につながり、子どもたちの未来を守る大切な一歩となります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名	有限会社ベイリーフ
創業	1998年7月7日
設立	2000年3月9日
所在地	大阪府吹田市芳野町8-4
事業内容	スポーツレジャー用品の輸入・企画・製造・卸売
URL	http://www.bayleaf.co.jp/
TEL	06-6337-6154
FAX	06-6337-6254
EMAIL	info@bayleaf.co.jp



商品タグイメージ